



尼崎市教職員組合：尼崎市西長洲町2-34-1
 執行委員長 中川 純一
 TEL 06-6481-1133 FAX 06-6481-9520
 ホームページ http://amakyoso.wix.com/amakyoso
 E-mail amakyoso@s5.dion.ne.jp

人事異動や仕事のことで、困った時は、尼教組へご相談ください。
 LINEで受付中。



就学援助事務を学校から切り離そう

毎年4月の新学期に、「就学援助希望」を全家庭から集めています。希望者には、必要書類を渡して期日までに提出をお願いしています。提出書類をチェックし、不備があればその都度家庭連絡し、整うまで繰り返します。さらに、援助担当者は昨年の対象者が今年も希望しているか書類を提出しているかの点検もしています。期日に間に合わせようと毎日必死です。

このような業務は、本来の教育業務ではありません。教職員の過重労働の要因にもなっています。尼崎市以外では、「学校は、援助制度のお知らせを配るだけ。あとの手続きは保護者が市に直接するだけ」という市がいくつかあります。

尼教組は、就学援助の申請手続きを学校から市へ変更するよう、要請署名を集めています。お手元に署名用紙が回ってきましたら、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

尼崎市教育委員会
 教育長 白根 保 様

就学援助の手続きを市で行うことを求めます。

日頃より尼崎の教育発展のためご尽力いただいておりますことに敬意を表します。新型コロナウイルスの学校生活も3年目になり、感染予防による制限な学校生活が続いています。オンライン授業、感染対策など運営以上の業務が増える中、代替教員が配置されないなど教員不足が更なる超勤勤務・業務負担を増加させています。負担が大きい業務の一つに「就学援助事務」があります。尼崎では毎年、希望調査用紙を配布し、希望の有無しをすべての家庭から返答を集め、希望有りの家庭に申請書を送り、課税証明書や銀行通帳コピーなどの必要書類を提出してもらい、担当者やクラス担任が1件1件点検し、記入漏れなどのチェックを行い、不備があれば提出書類を完備できるまで、何度も家庭と連絡を取り合っています。その一方で、担当者は書類の一覧表の作成や年度対象者が継続し援助を希望するかの確認も、期日に間に合うよう配慮しながら行っています。このような業務を子どもや保護者のためと信じ、時間と努力を惜しまなく長年行ってきました。しかし、他市では、学校は就学援助制度の案内を配布するのみで、後の手続きは市が行い、学校は認定結果を市から通知されるというところもあります。また、ネットで申請受付をしている自治体もあります。■就学援助の申請先が市になっている自治体・神戸市・加古川市・播磨市・芦屋市(尼崎市教職員組合より)

尼崎市も市が受け付けるとしていますが、「やむを得ず学校へ提出できない場合」とのみされ、学校が家裏の事務作業を請け負っています。学校教員にその業務を負わせることは、本来の教育活動への力をそぐことにもなりかねません。尼崎市においても、就学援助事務を学校から切り離すようお願いいたします。

要請項目：
 就学援助事務(申請手続き)を、学校ではなく、市が責任をもって行うようにしてください。

尼崎市立()学校

■取扱い 尼崎市教職員組合 尼崎市西長洲町2-34-1 電話 6481-1133



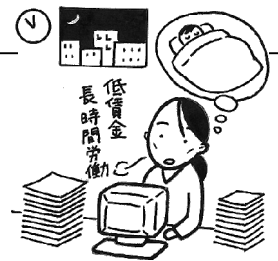
「ICカード退勤記録後の仕事再開はダメです」

この4月から本格実施したICカードによる出退勤記録。

市教委は、超勤縮減のために、まず職員の在校時間を正確に把握することを目的にしています。しかしながら、その使い方には学校による違いが生じています。尼教組は、市教委と交渉し、次のことを確認しました。

■ IC出退勤記録の使い方

- ・ 朝、家庭訪問等をしたとき勤務開始時間は手入力する。
- ・ 午後、出張等のときは後日に手入力する。
- ・ 土日に出勤したときも記録する。(クラブなどの試合で校外の時は、後日手入力する。)
- ・ 修学旅行、自然学校などのときは、初日から最終日まで手入力をする。(夜の打ち合わせなど含む)
- ・ 退勤記録をしてから仕事するのは絶対だめ。在校時間把握の主旨に反する。



今後は、仕事量そのものの軽減や、割振りが確実にとれるようにしていくことも大切です。そのためには、教職員の増員や少人数学級の実施が必要不可欠です。